

北海道農業・農村の概要

令和3年(2021年)9月 北海道農政部

1 地位と特徴

- 本道では、全国の約4分の1の耕地面積を活かし、稲作、畑作、酪農などの土地利用型農業を中心とした農業を展開
- 令和元年(2019年)の農業産出額は、1兆2,558億円で、全国の14.0%を占める
- 令和元年(2019年)の食料自給率は216%となっており、我が国における食料の安定供給に重要な役割を發揮
また、本道の農業・農村は食品加工業や観光業など幅広い産業と結びつき、地域経済の活性化や雇用の確保に大きく貢献
- 1農業経営体当たり経営耕地面積は、都府県の約14倍に当たる30.2ha、販売農家に占める主業農家の割合は71.7%と、大規模で専門的な経営を展開
- 本道は地形的に大きな広がりを持ち、気象や立地条件が地域によって異なっていることから、それぞれの地域において特色ある農業を展開

2 農業・農村の動向

- 耕地面積は近年横ばいで推移しており、令和2年(2020年)は114万3,000ha
- 認定農業者など担い手への農地の利用集積は年々進み、令和元年度(2019年度)末の集積率は91.5%
- 経営規模の拡大や頻発・激甚化する異常気象に対応するため、水田におけるほ場の大区画化や畑地・草地の排水改良などの生産基盤整備を実施
- 農家戸数は減少傾向で推移しており、令和2年(2020年)は約3万2,200戸。農業就業人口の65歳以上率は4割を超え、高齢化が進行

■ 本道農業の全国シェア

区分	単位	北海道(A)	全国(B)	A/B(%)	年次
耕地面積	千ha	1,143.0	4,372.0	26.1%	R2
農業経営体数	千経営体数	34.9	1,075.6	3.2%	R2
販売農家	千戸	32.2	1,027.7	3.1%	R2
農業産出額	億円	12,558	89,387	14.0%	R元
食料自給率	%	216	38(37)	-	R元

資料:農林水産省「農林業センサス」ほか

注 農業産出額の全国の数値は都道府県合計

食料自給率はカロリーベースで、全国の()はR2の数値

■ 北海道農業と都府県農業の比較

区分	単位	北海道(A)	都府県(B)	A/B(倍)	年次
1農業経営体当たり経営耕地面積	ha	30.2	2.2	13.7	R2
1戸当たり乳用牛飼養頭数	頭	140.6	62.4	2.3	R2
基幹的農業従事者65歳未満の割合	%	59.5	28.8	2.1	R2
主業農家率	%	71.7	20.8	3.4	R2

資料:農林水産省「農林業センサス」、「畜産統計」ほか

注 基幹的農業従事者:農業就業人口のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

注 主業農家:農業所得が主で、1年間に60日以上農業に従事している65歳未満がいる農家

■ 本道農業の地域別特色

区分	特色
道央	稲作を中心に、野菜、軽種馬、肉用牛などの多様な農業
道南	稲作や施設園芸、畑作、果樹などの集約的な農業
道東(十勝・オホーツク)	大規模で機械化された麦、豆、馬鈴しょなどの畑作や酪農畜産
道東(釧路・根室)、道北	冷涼な気候を活かした、EU諸国に匹敵する大規模な草地型酪農

注 道央(空知、石狩、胆振、日高、上川、留萌)

道南(後志、渡島、檜山)、道北(宗谷)

■ 耕地面積等の推移

(単位:千ha、%)

区分	H17	22	27	30	R元	2
耕地面積	1,169	1,156	1,147	1,145	1,144	1,143
田	228	225	223	222	222	222
普通畑	412	414	415	417	417	418
牧草地	525	514	506	502	502	501
担い手への利用集積率	79.4	87.5	87.5	91.0	91.5	-

資料:農林水産省「耕地面積調査」、北海道農政部調べ

注 担い手とは認定農業者及び市町村基本構想の水準到達者

■ 水田、畑地・草地の基盤整備状況の推移

(単位:%)

区分	26	27	28	29	30
水田整備率(1ha以上)	11.6	12.6	13.6	14.7	16.2
畑地・草地排水整備率	61.5	61.9	62.2	62.4	62.7

資料:農林水産省「農業基盤情報基礎調査」による道推計値

■ 農家戸数の推移等

(単位:戸、%)

区分	H17	22	27	30	R元	2
農家戸数	51,990	44,050	38,086	35,800	35,100	32,232
農業経営体-個人経営体 基幹的農業従事者 65歳以上比率	(34.1)	(34.4)	(36.0)	(38.5)	(41.2)	40.5

資料:農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」

注 農家戸数はすべて販売農家

注 ()は、農業就業人口における65歳以上率

- 令和元年(2019年)の農家子弟を含めた新規就農者の総数は454人と前年より減少
なお、農外からの新規参入者は、近年120人程度で推移

■ 新規就農者数の推移

(単位:人)

区分	H17	22	27	29	30	R元
新規学卒就農者	331	302	189	193	187	151
Uターン就農者	267	337	274	251	225	191
新規参入者	55	61	126	125	117	112
計	653	700	589	569	529	454

資料:北海道農政部調べ

- 認定農業者は、平成5年(1993年)の制度創設以降、着実に増加していたが、近年は離農や法人化の進展に伴い減少傾向にあり、令和2年(2020年)3月末現在で、2万8,978経営体

■ 認定農業者数、農地所有適格法人数の推移

(単位:人,経営体)

区分	H17	22	27	30	R元	R2
認定農業者	25,551	32,823	31,286	30,146	29,741	28,978
農地所有適格法人数	2,182	2,642	3,045	3,472	3,605	3,716

資料:北海道農政部調べ

- 農地所有適格法人は、年々増加しており、令和2年(2020年)1月1日現在で、3,716経営体

■ 企業等の農業への参入状況の推移

(単位:経営体)

区分	H17	22	29	30	R元
企業等が設立・出資した農地所有適格法人	65	119	206	211	217
農地を賃借する一般法人	—	30	92	90	93

資料:北海道農政部調べ

- 企業等の農業への参入は増加傾向にあり、令和元年(2019年)の農地所有適格法人形態による参入は217経営体、一般法人で農地賃借による参入は93経営体

■ 農業産出額の構成(R元)

(単位:億円,%)

区分	北海道	構成比	都道府県合計	構成比	道/合計	順位
農業産出額	12,558	100.0%	89,387	100.0%	14.0%	1
耕種	5,207	41.5%	56,513	63.2%	9.2%	1
米	1,254	10.0%	17,484	19.6%	7.2%	2
麦	368	2.9%	653	0.7%	56.4%	1
雑穀	421	3.4%	773	0.9%	54.5%	1
豆	542	4.3%	2,007	2.2%	27.0%	1
いも	1,951	15.5%	21,515	24.1%	9.1%	1
野菜	71	0.6%	8,399	9.4%	0.8%	29
果実	128	1.0%	3,264	3.7%	3.9%	8
花き	472	3.8%	2,417	2.7%	19.5%	1
その他	7,350	58.5%	32,344	36.2%	22.7%	1
畜産	5,006	39.9%	9,353	10.5%	53.5%	1
乳用牛	1,049	8.4%	7,482	8.4%	14.0%	2
肉用牛	455	3.6%	6,122	6.8%	7.4%	3
豚	327	2.6%	8,647	9.7%	3.8%	8
鶏	513	4.1%	740	0.8%	69.3%	1
その他						

資料:農林水産省「生産農業所得統計」

- 農業産出額は、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物、乳用牛、軽種馬の都道府県合計に占める割合は2割を超え、そのうち、麦類、乳用牛、軽種馬は5割超を占める

(参考) 生産量全国1位の品目(令和元年)
小麦、そば、大豆、小豆、馬鈴しょ、てん菜、
いんげん、たまねぎ、生乳、牛肉、軽種馬 など
※ 農林水産省「作物統計」、「牛乳乳製品統計」等

- 令和元年(2019年)の1経営体当たりの農業粗収益は4,048万円、農業所得は645万円
また、農業所得率は16.0%

■ 農業経済の動向(1経営体当たり)

(単位:千円,%)

区分	H17	22	27	29	30	R元
農業粗収益	18,167	22,926	28,978	34,524	35,035	40,476
農業所得	5,150	6,026	8,507	11,187	9,507	6,454
農業所得率	28.3	26.3	29.4	32.4	27.1	16.0

資料:農林水産省「農業経営統計調査」

注 H17~30は個別経営体。R元は全農業経営体。

- 令和元年(2019年)の1経営体当たりの農業所得は水田作281万円、畑作1,143万円、酪農1,944万円
また、所得率は、水田作17.4%、畑作22.6%、酪農14.8%

■ 経営部門別の農業所得・所得率

(単位:千円,%)

区分	H29	30	R元
水田作	7,615 (39.4)	5,454 (32.6)	2,815 (17.4)
畑作	13,639 (36.2)	12,080 (33.0)	11,431 (22.6)
酪農	25,025 (27.7)	20,488 (21.8)	19,440 (14.8)

資料:農林水産省「農業経営統計調査」

注 H29、30は個別経営体。R元は全農業経営体。

- YES!clean登録集団数は令和元年(2019年)産で257集団、作付面積は17,424haと前年より減少

■ YES!clean登録集団数等の推移

(単位:集団,ha)

区分	H27	28	29	30	R元
実集団数	334	321	276	263	257
作付面積	17,141	17,600	18,390	17,734	17,424

資料:北海道クリーン農業推進協議会調べ

- 地域資源を活用し、6次産業化に取り組んでいる農業生産関連事業体数は、令和元年(2019年)で3,020件と前年と同数
また、販売額は前年より減少し、1,522億円

■ 農業生産関連事業体数及び販売額

(単位:件,億円)

区分	H27	28	29	30	R元
事業体数	3,440	3,390	3,470	3,470	3,020
販売額	1,506	1,517	1,553	1,548	1,522

資料:農林水産省「6次産業化総合調査」